



第128号 ふれあいの里

〒632-0001 天理市中之庄町470 TEL.0743-65-1771(代)

発行責任者：鉄村 信治

編集：ふれあいの里広報委員会

<https://www.fureai-net.com/>



CONTENTS

新型コロナウイルス感染拡大防止策に伴う活動自粛のため、今号は2頁の掲載となります。

- 1頁・行方不明の高齢者を発見
天理警察署より感謝状をいただきました
- 2頁・夏祭りのような雰囲気の皆様をおもてなし
- 2頁・今年度の「ふれあいの里 秋の作品展」について

行方不明の高齢者を発見 天理警察署より感謝状をいただきました



先日、ライフエール天理店で勤務する職員が、行方不明になっていた高齢男性を発見保護し、人命救助に貢献したということで、天理警察署より感謝状をいただきました。

職員に話を聞くと、行方不明になったのはライフエール天理店がサービスを行っている訪問介護の利用者で、7月29日正午頃、男性の担当ケアマネージャーから行方が分からないと連絡が入ったとのこと。連絡を受け、まずは危険な場所から搜索。ありとあらゆる場所を搜索したのち、最終的に自宅から1kmほど離れた場所にある田んぼで座り込んでいたところを発見。すぐさま



所長に連絡を取り、同じく近隣を搜索していた所長が駆け付け、一緒に抱えて泥の中から引き揚げ、警察に連絡したとのこと。

所長の状況判断と的確な指示、職員たちの懸命な搜索が早期発見に結びつきました。

天理警察署長からも「あと数時間経っていたら、生命に関わるところだった。見つけていただいてありがとうございました」と労いのお言葉を頂戴しました。

(ふれあいの里 広報委員会)



健和会理念

私達は、医療がサービス業であることを認識し、以下の目標を掲げる。

- 1・患者さん中心の医療・看護・介護
- 2・地域社会への貢献
- 3・研究心と向上心を持つ
- 4・和を尊ぶ

健和会基本方針

- 1・私たちふれあいの里の職員はいつも患者さんの意思を尊重し権利を遵守して、患者さん中心の医療、看護、介護を実践します。患者さんのADL(日常生活動作)改善とQOL(生活の質)向上のため、積極的にリハビリテーションに取り組みます。
- 2・私たちは、他の医療機関や地域の人々と連携して地域社会に貢献し、社会に開かれた施設を目指します。
- 3・私たちは患者さんから学ぶという初心を忘れず、より良い医療、看護、介護を提供できるように常に研鑽し探究する精神を持ち続けます。
- 4・私たちは力を合わせてチーム医療の遂行のために努力します。

祭 夏祭りのような雰囲気の皆様をおもてなし

～屋台風の食事を召し上がっていただきました～



新型コロナウイルスの影響で全国的に様々なイベントが中止になる中、デイサービスセンターいずみでは夏祭りの雰囲気を少しでも感じていただこうと、「屋台風の食事」と銘打って、厨房のカウンターに暖簾や提灯の飾りを施し、気持ちを盛り上げていただきながら食事を召し上がっていただく行事を行いました。

メニューは、お好み焼き、たこ焼き、焼そばの3品より2品を選んでいただき、食券をお渡しし、料理を提供する際に交換していただく形式をとりました。それに加え、フランクフルト、フライドポテトをお付けするとお祭りメニューの完成です。飲み物はノンアルコールビール、ノンアルコール梅酒のどちらかを選んでいただきました。男性利用者の皆様からは、「久しぶりのビールやうまい!」という声上がり、女性利用者の皆様からも「この梅酒、おいしいわ!」とメインの食事よりノンアル

コール飲料の話題に花が咲きました。普段なかなか味わえない雰囲気の中で皆様に食事を召し上がっていただいている様子を見ることができ、企画してよかった、次はどういった企画をすれば皆様の喜んでいただいている姿を拝見できるだろうかと考えていると、ますます次回の行事企画に気合いが入ってきます。

理事長が日頃から「お刺身やお寿司、又はその時々旬のものを目で見えて楽しみ、食べる喜びを加味して食事の提供をしてあげて欲しい」といつもおっしゃっていることが、今回のような行事食を行うことによってダイレクトに私たちにその答えが返ってきていると感じました。

決して食事を取らない人はいません。皆様様々な人生を歩んでこられた中で、デイサービスセンターいずみにお越しいただいているので、リハビリをして体を維持していただくのもいいでしょう。しかしその元となるのは食事であると思っています。これからも利用者様の最高の笑顔が見られるように様々な行事や食事を企画してまいります。食事には皆様を幸せにする魔法があるのです。

(デイサービスセンターいずみ センター長 大竹 昌平)



今年度の『ふれあいの里 秋の作品展』について

毎年、入院患者様、入所者様、各施設サービス利用者様、家族様にご好評をいただいております『ふれあいの里 秋の作品展』ですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、奈良東病院での一斉展示ではなく、各施設にて展示する形で開催することとなりました。例年のように皆様の作品を一堂に会して開催する方向で調整しておりましたが、作品をご覧になる方々で密になる可能性があるため、各施設分散での開催とさせていただきますこととなりました。

応募規定や展示期間、展示場所につきましてはご利用になられている施設においてご確認いただきますようお願いいたします。

(ふれあいの里 作品展実行委員会)



編集後記

5月25日に新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が全国的に解除されてから4ヶ月あまりが過ぎました。解除後もしばらくは都市部を中心に新型コロナウイルスによる感染者が確認されましたが、最近では少し落ち着いてきたように感じられます。しかしながら、完全に終息したわけではありません。先日の連休中には各地の繁華街や観光地が多くの人々で賑わっている様子がニュースで報道されました。多くの方が感染対策を行った上で外出をされていると思いますが、医療機関で従事している者として少し心配になりました。

新型コロナウイルスで始まった令和2年も残り3ヶ月となりました。季節の変わり目を迎え、その後は秋、そして冬を迎えます。毎年のごとくですが、今後はインフルエンザが流行する季節となります。皆様におかれましてはこれまでどおり手洗い、うがい、手指消毒をこまめに行っていただき、体調管理に努めていただきますようお願いいたします。

(広報委員長 橋本 重之)

